

元気なまちづくり

vol.38

総合戦略室（総合戦略グループ）

☎0296-58-5126(直通)

Uターンで地域に活力を



将来の桜川市について、熱く語る勝村勇輝さん

Uターンを決意

岩瀬駅近くの商店街に、静かにたたずむ小洒落たカフェがあります。

「ごっつしゃいませ」

爽やかな笑顔で出迎えてくれるのは、Cafe METROのオーナーの勝村勇輝さん。旧岩瀬町で生まれ育った勝村さんは、高校卒業後に専門学校に通うために東京に上京しました。その後、ファッション・

デザイン関係の仕事を経て桜川市に戻り、カフェを開業した、いわゆるUターン者です。

元々は東京で生活を続ける予定でしたが、桜川市に帰省した際に、何も魅力を感じなかったことに危機感を覚え、地元のために何かしたいという思いが強くなり、Uターンを決意しました。

同じ気持ち、思いを持った友達と一緒に、耕作放棄地で畑を始めるなど、積極的に地域の方々と関わるようになりました。そして、昨年、空き家を活用して、カフェを開業しました。

決意〜現在

1年経った今、その思いを語ってくれました。

提供する料理はなるべく

地元産の野菜を使うようにしています。『桜川ガレット』は桜川産のそば粉を100%使用し、内需や農産物のPRに心がけ、地域活性化にも繋がっていきたいと思っています。応援してくれる農家さんが食材を安く提供してくれるので、地元の方々とも良い関係が作れていると実感しています。

Uターンから数年経ち、当初は不安や葛藤もありましたが、地域のおばあちゃんの「美味しいね」という言葉や、子ども達に「オシャレだね」と喜んでもらえることにやりが



桜川市Uターンワークショップでのプレゼンテーション

いを感じ、今では戻ってきて良かったと思っています。

キーワードは

『楽しい』

将来の桜川市について、「例えばニューヨークのような色々な世代、価値観、文化が共存でき、誰もが知っていて憧れるような街にしていきたいです。夢のまた夢ですけどね」と少し照れながら大きな夢を語ってくれた勝村さん。

「地域に人を呼び込むためには、シンプルに『楽しいこと』を提供すること。『楽しいこと』をすれば自然に人は集まり、地域の良さを実感してくれると思っています」と話してくれました。

今は、カフェを経営しながら、『楽しいこと』を創り出すために、地元の仲間達と一緒にイベントの企画などを行っています。

若い世代だからこそ生まれる、今までになかった新たな視点で、今後、まちづくりの良い起爆剤として、勝村さんのおもちゃ箱からどんな発想が生まれるか、ますます楽しみです。



あなたの側で、
誠実に、忠実に。

igital
Digital Print Co., Ltd.

株式会社 **デジタル印刷**
TEL 0296-54-2626 (代)
FAX 0296-54-2724

www.digital-54-2626.com

資格取得 働きながら学ぶ

少子・高齢化が進展する現在、資格者として医療の分野で輝けるフィールドが大きく広がっています。当学院では、幅広い年齢層の生徒が共に学び、地域医療の最前線で活躍しています。社会人の方々も、数多くチャレンジしています。

入学相談・学院見学 随時受付中

真壁医師会准看護学院 筑西市二木成 827-1 (下館南中学校そば)
☎0296-22-7702 http://www.m-ishikai.com/gakuin/

